

モンタナ州及びワシントン州東部における日本文化紹介キャラバン

10月9日から12日にかけて、モンタナ大学（モンタナ州ミズーラ市）、モンタナ州立大学（モンタナ州ボズマン市）、ゴンザガ大学（ワシントン州スポケーン市）の3大学において、JETプログラムの紹介の機会にあわせて、書道・ロボット技術・映画を通じて日本文化を紹介する行事（日本文化紹介キャラバン）を開催しました。



期間中は、世界各都市で「世界一周・書の旅」を実施している書家の木村翼沙女史を講師として、漢字やひらがなの成り立ちや歴史を含めた書道に関する講演や、日本の伝統音楽である尺八の演奏とのコラボレーションによるパフォーマンスや水習字（墨の代わりに水を使って書道を体験できるキット）を使った書き方のレクチャーを実施しました。



また、産業技術総合研究所で開発され、「世界一の癒しロボット」としてギネスブックにも認定されたアザラシ型介護ロボット「パロ」の紹介を通じて日本の最先端技術を紹介したほか、映画「がんばっぺフラガール」や「ロック〜わんこの島」の上映会を通じて、東日本大震災から着実に復興を遂げつつある今日の日本の様子や、自然災害などの困難に直面した際に助け合う日本人のヒューマニティを伝えました。



最後にこの場を借りて、本行事の開催にご協力いただいた関係者各位にお礼申し上げます。